

## 平成29年 埼玉県人会

平成29年10月5日（木）、毎年恒例の埼玉県人会が県民のお膝元でもある池袋、サンシャインシティ59階「ジョーズシャンハイ」において盛大に執り行われた。

本年度は、埼玉県校友会の5名の先生方（順不同：大井 了 会員（71回）、小谷田 宏埼玉県校友会会長（61回）、重竹 淳一埼玉県校友会副会長（68回）、松崎俊哉会員（76回）、渡辺 裕 会員（68回）をはじめ、9名の附属病院の先生方の参加となり大変な賑わいをみせた。また、学生諸君も37名の参加となり、改めて層の厚さを実感した。

小川智久会員（82回）進行の下、小谷田県校友会会長にご挨拶いただき、学生諸君には一層の切磋琢磨と、校友だからこそ可能である関係性について「簡潔に」述べられ（早く飲みたい！）、乾杯の発声となった。

その後、歓談となるが、学生諸君は早速校友会の先生方、および附属病院の先生方への挨拶へ向かう波ができた。37名となると相当なものである。先生方は生徒諸君へ一人ひとり耳を傾け、熱心に応えられていた。学生生活におけるアドバイスや思い出、国家試験への心構え、さらには国家資格取得後の進

路や、将来の開業に向けた準備等、レポーターの私も盗み聞きしたくなる内容であった。

5年生諸君は学生をまとめるべく常に周りに目を向け、先生方へのお酌や挨拶に訪れた生徒の紹介をし、大変心強く、頼もしく感じられた。

先生方も大いに動く。このような懇親会の経験がなく、実際場になじめず困惑している1年生諸君の所へ歩み寄り、気さくに話しかける姿は、さらにその場を温かく、そして和やかな雰囲気させた。至る所で話が盛り上がり、あっという間の2時間であった。先生方、生徒諸君お互いに和気あいあい、さらには団結すらも感じられる様子であった。

全体写真も非常に表情が明るく、県人会の存続の意義を大いに感じながら本年度の県人会は終了となった…が、親睦は続くよどこまでも（二次会までだが）。しかしご安心を！ 次の日も小川会員は元気であった。

校友会の先生方におかれましては、お忙しい中、我らが埼玉県民を盛り上げるべくお越しいただきありがとうございます。埼玉県民は附属病院の全生徒数でも上位を占めます。県民の団結力をより高めるべく、次年度以降も開催の折は、ご多忙のことと存じますが是非ご参加いただけましたら幸甚に存じます。

今回、懇親会の場にてこの大役を任命いただき、改めて小生の文章力のなさを痛感いたしました。乱文ではありますが、当日の様子が少しでも脳裏に浮かんだのであれば幸いです。

（川名弘剛・96回記）



埼玉県人会 平成29年10月5日  
於 池袋サンシャインシティ「ジョーズシャンハイ」